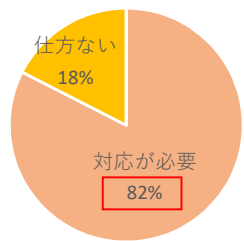


空き家に関することや本プロジェクトに関することについて、川北町内の皆様、鷹巣地区の各町内会長の皆様にアンケートの回答をいただきました。ご協力いただきありがとうございました。

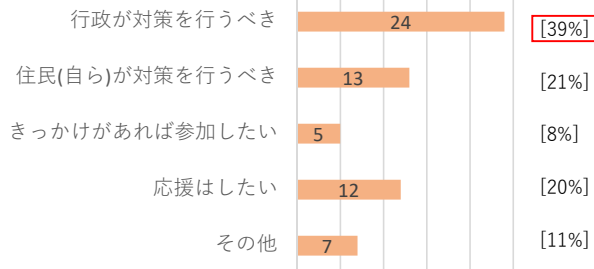
[回答者属性]

	性別			年齢					計
	男性	女性	未回答	40代	50代	60代	70代	80代	
川北町内 住民	8 (50%)	7 (44%)	1 (6%)	1 (6%)	5 (31%)	6 (38%)	3 (19%)	1 (6%)	16
鷹巣地区 町内会長	13 (54%)	11 (46%)	0	1 (4%)	9 (38%)	11 (46%)	3 (12%)	0	24

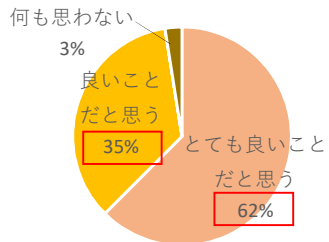
空き家の増加に対する考え方



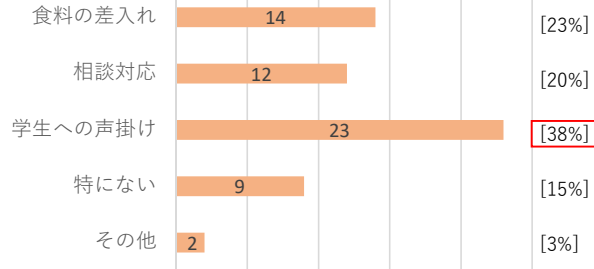
空き家が増加することへの対応主体《複数回答》



学生が地域に住まうことについて



入居した学生に対するサポート《複数回答》



ポイント！

- ・約8割が空き家の増加に対して「対応が必要」と認識。
- ・約4割が空き家対策は「行政」が行うべきとし、「住民」自ら対応は約2割。
- ・約9割が県大生が地域に住まうことについて「とても良い」「良い」と回答。
- ・入居学生に「地域イベントへの参加」「声掛け・見守り」「挨拶等の日常の交流」を求める意見がそれぞれ約3割。
- ・学生にサポートできることは「学生への声掛け」が38%で最も多い。

ホームページはこちらから⇒



— 第3号 —

編集・発行
地・学連携による空き家活用プロジェクト事務局
(一般財団法人鳥根県建築住宅センター内 TEL:0852-26-4577)

令和3年1月



1年目のプロジェクトも終盤です！

2年計画でスタートしたシェアハウスプロジェクトも1年目の取組が終盤に差し掛かりました。地域の皆様のご理解をいただき、予定していた取組も順調に進んでいます。昨年10月には川北町内の皆様、鷹巣地区各町内会長の皆様にアンケート調査へのご協力をいただきました。結果がまとまりましたので、ご紹介させていただきます。地域の皆様が学生が地域に住まうことについて好意的に受け止めていただいていると感じ、とてもうれしく思っているところです。来年度も取組を続けてまいりますので、引き続きご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

第3回検討会 令和3年1月24日

プロジェクトの進捗管理、取組内容の決定などを行うため、関係団体の担当で構成する検討会を2月末までに計4回予定しています。先日、3回目の検討会を鷹巣コミュニティセンターにて実施しました。内容はシェアハウスへ改修するための基本設計図や概算事業費の検討が中心となりました。今回は鷹巣地区を担当する市社会福祉協議会の方にも参加をいただきました。本プロジェクトが市内各地へ波及し、関心をもつ方が増えていることに心強く思いました。



地・学連携！

検討会のあとは地域の方手作りの「燻製」をいただきました！

前回の「焼き芋会」に続き、今回は「燻製大会」を行いました。地域の方に前日から準備をしていただき、「燻製」と「猪汁」をおいしくいただきました。コロナ対策のこともありコミセンの軒下で、ディスタンスをとりながらでしたが、楽しい時間となりました。ありがとうございました！



学生向けアンケートの結果

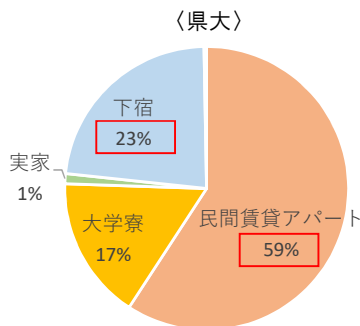
学生の住まいの現状やシェアハウスに関することなどについて、アンケート調査を行い、県大生343人、島大生126人の計469人の学生から回答をいただきました。

[回答者属性]

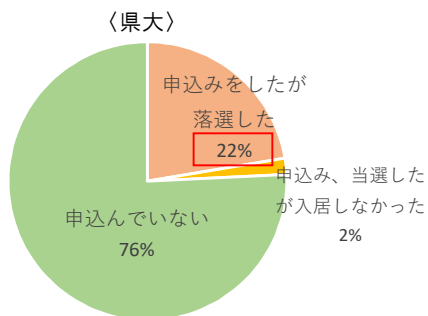
	性別			学年				計
	男性	女性	無回答	1年生	2年生	3年生	4年生	
県大	24 (7%)	319 (93%)	0 (0)	109 (32%)	86 (25%)	89 (26%)	59 (17%)	343
島大	73 (58%)	50 (40%)	3 (2%)	40 (31%)	35 (28%)	37 (30%)	14 (11%)	126

①現在の住まいについて

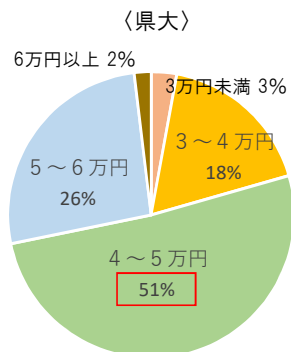
現在の住まいの状況



民間賃貸アパートに住む学生における寮への申込み状況



学生が住む民間賃貸アパート・下宿の家賃



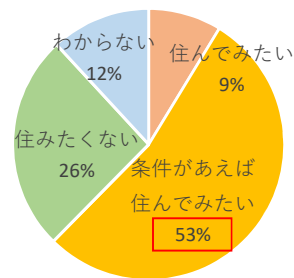
ポイント!

- ・学生の約6割が民間賃貸アパートに居住。学生寮に住む県大生は17%。
- ・民間賃貸アパートに住む県大生の約2割は大学寮を希望して落選。
- ・4~5万円の家賃を負担している学生は、約5割。
- ・寮生活を希望しなかった主な理由は、「一人暮らしがしたい」「門限があるから」等が多い。

②シェアハウスについて

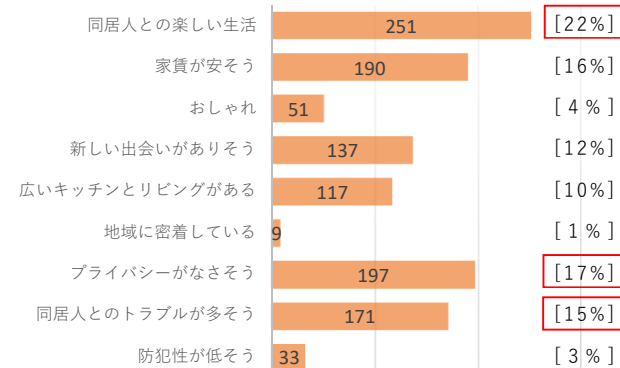
シェアハウスへの居住について

〈県大+島大〉



学生がシェアハウスに抱くイメージ《複数回答》

〈県大+島大〉



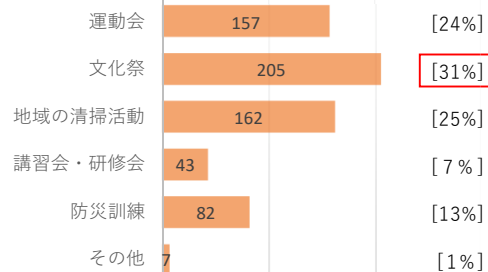
ポイント!

- ・シェアハウスに対して「同居人との楽しい生活」をイメージする学生が最も多く22%。
- ・「プライバシー」と「同居人とのトラブル」を懸念する学生が約2割。
- ・シェアハウスに「条件があれば住んでみたい」と考える学生が約5割。
- ・「家賃」「個室のプライバシー」をシェアハウスに住む条件とする学生がそれぞれ16%。

③地域の皆様との関係について

シェアハウスに住んだ場合に参加したい地域活動《複数回答》

〈県大〉



ポイント!

- ・ほとんどの学生が地域の皆様と良好な関係を築きたいと回答。
- ・地域活動へ「参加したい」、「内容によっては参加したい」県大生が約8割。
- ・参加したい地域活動は文化祭が31%で最も多い。